

会議開催結果概要書

1 審議会等の名称	市立岸和田市民病院地域医療支援委員会
2 開催日時	平成29年11月16日（木）午後2時から午後3時まで
3 開催場所	市立岸和田市民病院 3階講堂（前）
4 公開・非公開の別	（ <input checked="" type="checkbox"/> 公開 ・ <input type="checkbox"/> 非公開 ）
5 非公開理由 （非公開の場合のみ）	
6 出席者	委員 9名、事務局 14名、その他（ ） 名
7 傍聴人数 （公開の場合のみ）	なし
8 議題及び審議概要	<p>1. 開会</p> <p>2. 委員長より挨拶をいただいた。</p> <p>3. 案件(1)について、地域医療支援病院業務報告（29年度）の概要を事務局より資料に基づき説明があった。委員より講堂・研究室・研修室の利用方法についての質問があり、担当より会議や講演会、研修会等にご利用いただけること、利用時間は日中だけでなく夕方からもご利用いただけると説明を行った。</p> <p>案件(2)について、自宅での検査前処置（下剤服用）や検査時における沈静に対して希望者に対応できる体制が整い、10月から開始していると報告があった。次いで、形成外科においてQスイッチルビレーザー機器を導入したことに伴い、10月よりレーザー外来を開設したと報告があった。また産婦人科の認知度を高めていくために、「女性のための健康講座 産婦人科講座」を12月、1月、3月に開催予定であると報告があった。次いで8、9月に八木市民センターで開催し大変好評であったベビーマッサージ講座を11、12月に春木市民センターで開催すると報告があった。そして、がん予防とたばこの害についての市民公開講座を2月に開催予定で企画中であると報告があった。次いで市立岸和田市民病院だより「うらら」第7号を発刊したと報告があった。委員より岸和田市町会連合会役員会並びに校区連合町会長会において「うらら」が非常に好評であり町内回覧だけでなく、もっと市民の目に触れてもらうように全戸配布を検討してはいかかか、という意見があったことが紹介された。事務局よりお褒めの言葉を頂戴し大変光栄であること、第5号</p>

	<p>までは岸和田市内の公共施設に設置していたが、もっと市民の目に触れるように第 6 号から町内回覧を実施しており、今後もっと市民に広く広報できる方法を検討していきたいと回答があった。病院長より現時点での人事異動について、神経内科部長が平成 30 年 4 月より着任が決定したこと、皮膚科部長が平成 30 年 4 月で交替になると報告があった。次いで、12 月 4、5 日に病院機能評価を受審予定であると報告があった。</p> <p>4. その他</p> <p>(1) 委員より、外来 2 階採血室への曲がり角が大変危険であるという市民の意見が紹介された。事務局より、天井部分にカーブミラーを付け、廊下に矢印をつける等対応を行ったと回答があった。</p> <p>(2) 委員より、入院中に利用するアメニティグッズについて、委託業者が変更になった後から申し込み方法が複雑でわかりにくい、清算方法は請求書が退院後日に自宅に郵送され、振込みに改めて出かけなければならず、退院時に入院料と同時に支払いできるよう改善して欲しい、という市民の意見が紹介された。副看護局長より、入院時にパンフレットをお渡しし説明を行っていること、床頭台のテレビで案内DVDの放映を開始したこと、さらに必要であれば常駐している委託業者より訪問説明することも可能であると回答があった。事務局より、清算方法については病院会計とは異なり、業者に一任しているため現状でお願いしたいと回答があった。</p> <p>(3) 委員より、入院中の食事について、味付け等を改善して欲しい。またお茶の配膳時にテーブルの端の方に置かれる時があり、動きが制限されている患者はお茶に手が届かず、目の前にあるが我慢したという市民の意見が紹介された。事務局より、食事内容については栄養管理部に意見を伝えておくと回答があった。看護局長より、お茶の配膳について配慮するように周知すると回答があった。</p> <p>(4) 委員より、看護師がとてもやさしく対応がすごく良くなっているという市民の意見が紹介された。看護局長より患者さんに適切な対応ができるように指導を継続していくと回答があった。</p> <p>(5) 委員より、本会議において過去に傍聴実績はあるのか、また議事録は公開されているのかと質問があり、事務局より過去に傍聴実績があり、議事録は公開されていると回答があった。</p> <p>(6) 委員より、検査や治療において患者や家族が不安や不信感を感じた場合にどのように対応すればいいのか具体的な例により質問があった。病院長より質問された例に対して医学的な観点からは検査データの数値が悪ければ薬剤の副作用の可能性があっても癌等の疾患を疑って検査を行うと回答があった。事務局より、市立岸和田市民病院では薬剤の副作用等も含めお困りごとの相談は、相談窓口を設け対応していると回答があ</p>
--	---

	<p>った。看護師長より総合相談窓口を設置して医療に関しての不満や疑問を受付しているが、そのような窓口があることの広報をもっと強化していきたいと回答があった。副委員長より薬剤を適切に使用したにも関わらず不幸にも副作用が生じてしまった場合は医薬品副作用被害救済制度に申請し認定されれば経済的救済を受けることができるとご意見をいただいた。</p> <p>(7)委員より、市立岸和田市民病院ではドクターヘリに対応しているのかと質問があった。病院長より、ドクターヘリは1医療圏に1施設程度が指定されている3次救急医療を提供する施設で対応している、市立岸和田市民病院は1・2次救急医療を提供しており、ドクターヘリには対応していない、と回答があった。副委員長より各病院には役割が与えられており、市立岸和田市民病院には地域医療支援病院として確実な仕事をこなしておられるとご意見をいただいた。</p> <p>(8)事務局より、次回第4回委員会は平成30年2月15日(木)に開催予定であると報告があった。</p> <p>5. 閉会</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
9 そ の 他	